



公共(2年次普通科)・政治経済(3年次普通科)

山形新聞 読み方講座受講

見出し眺めて 世の中把握

鶴岡中央高で読み方講座

考えるチカラは知ることから
1学級1新聞

地方創生をテーマに山形新聞社が提唱する「1学級1新聞」を導入している鶴岡市の鶴岡中央高(兼子由



紙面構成などについて学んだ読み方講座
―鶴岡市・鶴岡中央高

香校長)で29日、新聞の読み方講座が開かれた。生徒が、紙面構成や歴史を記録する新聞の役割などについて理解を深めた。

「公共」「政治・経済」を選択する2、3年生計約180人が受講した。山形新聞の松田直樹鶴岡支社長が講師を務めた。紙面の前半は政治行政や国際、経済ニュース、中面に地域、スポーツ、後半に事件事故が載ることなど約束事を説明し、「見出しを眺めるだけでも世の中の流れがつかめる」と述べた。2年五十嵐侑人さん(16)は「講座を聞いて新聞の面白さと読み方を知ることができた。これから毎朝読む習慣を身に付けたい」と話



4 質の高い教育をみんなに



▼ SDGs 「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称。国連加盟国が採択した目標で、「質の高い教育をみんなに」など17項目を掲げている。教育格差の是正などを目指す本紙提唱の「1学級1新聞」の趣旨と合致する。

した。 県内高校を対象にした1学級1新聞は、山形新聞OBの故鈴木正氏の篤志で設立された「鈴木基金」を活用し、趣旨に賛同する企業の協力を得て実施している。県内全ての公私立高、

高等専門学校計61校、781学級に山形新聞を届けている。(松田直樹)

- 【協賛企業】山形銀行、荘内銀行、きらやか銀行、山形県民共済生活協同組合、日東ベスト、日新製菓、アイジー工業、かわでん、角田商事、山形トヨペット、ネットトヨタ山形、山形日産グループ、沼田建設、升川建設、山和建設、JA全農山形、ヤマザワ、山形パナソニック、須藤不動産、ウンノハウス、幸栄建設、加藤総業、ウエノ、でん六、大商金山牧場、ラッキーバッグ、進和ラベル印刷、山形ダイハツ販売、ワイム、ジヨイン、電通